

6年生 名勝「躑躅ヶ岡」について学ぶ 7月13日(水)

6年生は総合的な学習の時間で「もっと知りたい鎌倉 ふるさと館林」という学習を行っています。その一環として、館林市教育委員会による「ふるさとづくり出前講座」を受講しました。



つつじのまち観光課つつじが岡公園係の職員お二人が本日の講師です。

郷土の誇りであるつつじが岡公園についての歴史を紐解いていきます。



つつじが岡公園のはじまりは室町時代にまで遡るそうです。

「へえ～そうだったのか！」と興味深そうに話をきいていました。初めて知ったことがたくさんありました。





幕末から明治時代にかけて公園は荒れてしまったそうです。

その復興に尽力したのは初代群馬県令の榎取素彦氏でした。

※榎取素彦氏はその頃第一小学校を度々訪れています。

その後、いろいろな人々の尽力により見事復興を遂げ、最近では日本遺産「里沼」の一つ、「守りの沼」としてその価値を一層高めています。



最後に、つつじのオリジナル品種について学び、学習を終えました。

